平成 23 年 10 月 7 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 マ ル マ エ
代表者名　代表取締役社長　前田　俊一
（ コード番号：6264　東証マザーズ ）
問合せ先　取締役管理部長　藤山　敏久
（ TEL. 0996-64-2900 ）

通期業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、平成 23 年８月期（平成 22 年９月１日～平成 23 年８月 31 日）の業績予想について、平成 23 年７月 19 日付当社「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 23 年８月期第４四半期会計期間において下記のとおり特別損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

記

１．当期の業績予想数値の修正（平成 22 年９月１日～平成 23 年８月 31 日）　（単位：百万円）

	売　上　高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	1,210	△17	△64	△440	△24,056.09
今回修正予想（B）	1,266	5	△49	△389	△20,981.16
増 減 額（B－A）	56	22	15	51	
増 減 率（　％　）	4.6	―	―	―	
（参考）前期実績（平成 22 年８月期）	938	△227	△287	△405	△21,877.38

２．修正の理由

売上高につきましては、前回予想の 1,210 百万円から 1,266 百万円に若干増加する見込みとなりました。利益面につきましては、売上の増加により営業利益、経常利益ともに改善され、当期純損失におきましては、下記特別損失の計上が前回予想の見込みを下回ることとなったこともあり、51 百万円改善し 389 百万円となりました。

３．特別損失の計上

本日開催の取締役会において「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき資産の将来の回収可能性、評価値につき精査を行った結果、固定資産の減損損失については、186 百万円（特別損失）を計上することといたします。当第４四半期会計期間において減損損失を計上しました資産及び資産グループについては、以下のとおりです。

また、別途事業再生ＡＤＲ手続に伴う事業構造改善費用として当第４四半期会計期間において

44 百万円を特別損失に計上いたしました。

（単位：千円）

場所	用途	種類	金額
熊本県	遊休資産	土地	22,433
	遊休資産	構築物	37,760
	遊休資産	工具・器具・備品	1,417
	遊休資産	リース資産	2,491
鹿児島県	遊休資産	建設仮勘定	121,964
合計			186,066

以　上

(注)本資料に記載されている当社の業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提にしており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。